

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校児童クラブ 発行日 2008年7月18日
編集 「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

56号

格差の拡大や、貧困の広がりが生活を困難にし、大人も子どもも生きにくい社会になっています。乳幼児期から格差社会の中で生きていかなければならない現実が、子どもの成長と発達を阻んでいます。しかし国は子育てを支えることはせず、「自助努力」「自己責任」ばかりを強調し、教育や福祉の公的責任を後退させてきています。今こそ共同的な子育ての仕組みを作っていくことが重要です。8月2・3・4日と東京で開かれる「第40回全国保育団体合同保育研究集会」は、子どもを真ん中に、保護者、保育者、保育に関わるすべての人たちが「子どもに最善のものを」の一致点で考えあい、学びあい、明日の子育て・保育を切り拓く力を寄せ合う場です。ぜひ多くの方に参加を呼びかけます。(T・R)

新・保育所保育指針の内容

○ 第1章～第7章で構成、保育所における保育の内容を定める
○ 厚生労働大臣告示(平成20年3月28日公布)

第2章 子どもの発達 保育士等が子どもの発達及び生活の連続性に配慮して保育するため、乳幼児期の発達の特性や発達過程について示す 1. 乳幼児期の発達の特性 2. 発達過程	第3章 保育の内容 乳幼児期の子どもの身に付けることが望まれる心徳、意欲、態度などの事項及び保育士等が行わなければならない事項等、保育所における保育の内容を示す 1. 保育のねらい及び内容 2. 保育の実施上の配慮事項	第4章 保育の計画及び評価 計画に基づいた保育の実施のため、「保育課程」及び「指導計画」を明確化するともに、保育の質の向上の観点から、保育所や保育士等の自己評価について示す 1. 保育の計画 2. 保育の内容等の自己評価
第7章 職員の資質向上 質の高い保育を展開するために必要となる職員の資質向上について、施設長の責務を明確化するともに研修等について示す 1. 職員の資質向上に関する基本事項 2. 施設長の責務 3. 職員の研修等	第1章 総則 保育所保育指針の基本となる考え方や全体像を示す(2章以下の根幹を成す) 1. 趣旨 2. 保育所の役割 3. 保育の原理 4. 保育所の社会的責任	第5章 健康及び安全 子どもの生命の保持と健全な生活の基本となる健康及び安全の確保のため、保育所において留意しなければならない事項について示す 1. 子どもの健康支援 2. 環境及び衛生管理並びに安全管理 3. 食育の推進 4. 健康及び安全の実施体制等
	第6章 保護者に対する支援 保護者支援の原則や基本を踏まえ、保育所の特性を生かした入所児の保護者への支援及び地域の子育て支援について示す 1. 保育所における保護者に対する支援の基本 2. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援 3. 地域における子育て支援	

なぜ今、保育指針が改訂されたのか
小・中・高等学校における「学力低下」問題に端を発して、「ゆとり教育」の見直し問題や、教育基本法、学校教育法の改定を受け、2006年の中央教育審議会答申で「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について」の課題が打ち出されました。その一つとして、幼児教育が教育改革の優先課題として位置づけられています。なかでも保育園や幼稚園と小学校との連携が必要とされ、小学校からの生活や学習の基礎を培う指導(特に5歳児対象)が新しい提案としてあげられています。

新・保育指針の実施にあたって

今回の改定の大きな特徴としては、①保育所保育指針の告示化、②保育の内容、養護と教育の充実、③小学校との連携の推進、④保護者に対する支援、⑤保育計画、自己評価、職員の資質向上、の五つがあげられます。
これまでの「保育指針」は局長通知で強制力はなかったのですが、今回は「厚生労働大臣の告示」とされ、「すべての保育所が遵守すべき最低基準」として、強制力が働くことになったのです。国は、この内容を全国の保育所で一定の保育水準を保つためのガイドラインとして実施することになっています。

この春、保育所保育指針が改定されました。保育所における保育内容や保育所の運営について国が定めたものです。改訂された保育所保育指針(以下、「保育指針」と呼びます)は、2008年3月末公布、2009年4月1日施行されます。国は保育園をどのような場にしていきたいのか、そして私たち保育に関わる者はどうしていけばいいのか、考えなければならぬこと、実際に行動に移さなければいけないことなど、たくさんあります。この実情を知っていただきたく、この間の経緯や新しい保育指針についてご紹介いたします(新「保育所保育指針」の内容は別表参照)。

保育園と保育のこれから



単には実現できそうにない問題がたくさんあります。

たとえば、「人員配置は今のままでこの内容をすべて実践できるのか」「小学校との連携については、保育士は一日中保育にあたるのに、園児が入学するすべての学校と関わるにはどのようにしたらいいのか」「保育園の運営は財政難で、対策がたてられない」「研修ももっと行きたいが職員体制がない」「正規職員が減って時間契約職員が増えているのに研修費が出ない。どうやって資質の向上をはかればいいのか」など、悩みは尽きません。

また、養護と教育の一体化については、今でも保育園の保育では、養護だけでなく教育的な内容も培ってきています。しかし、今回別々に記載された保育指針に照らして、たとえば砂場遊びは教育なのか、保育なのかを考えると、わざわざ分ける必要があるのか疑問です。

さらに、この保育指針の具体化にあたっては、施設整備や人員確保なしにできないことは明らかで、来年の4月の施行に向け、保育実践や園運営の課題をより明確にしていかなければなりません。

今回の改定の大きな特徴としては、①保育所保育指針の告示化、②保育の内容、養護と教育の充実、③小学校との連携の推進、④保護者に対する支援、⑤保育計画、自己評価、職員の資質向上、の五つがあげられます。

今回の改定の大きな特徴としては、①保育所保育指針の告示化、②保育の内容、養護と教育の充実、③小学校との連携の推進、④保護者に対する支援、⑤保育計画、自己評価、職員の資質向上、の五つがあげられます。

陽光保育園の生活 春～夏



▲5月16日、4、5歳児の親子バス遠足は葛西臨海公園に行きました。あいにくの曇天でしたが、西なぎさでたくさん海あそびをしました。
▲5月8日の「こどもの日のつどい」では、子どもたちが摘んできたよもぎの葉を蒸し、草餅をついて、みんなで食べました。とびきりおいしかったことは言うまでもありません。



（陽光保育園主任保育士 徳留人美）



▲5月22日、3歳児クラスは近所の茂呂山公園に遠足。手頃な木を見つけては、みんな木登りに夢中。お弁当も食べ、大満足で帰路につきました。
▲6月5日、5歳児クラスは埼玉県・東武竹沢にある金勝山に登り。標高3,000mくらいの山ならもうへいっちゃん！山頂でみんなでガッツポーズ！



▲暑い日射しがさすようになると、一番の楽しみは水あそび。シャワーを浴びて歓声をあげる4歳児クラスの子どもたち。



▲暖かくなるとさかんになる砂あそびや水あそび。2歳児クラスの子どもたちは、自分の背丈より高い山を砂でつくり、登ってはすべり……を繰り返します。

●語りと音楽のつどい——6月21日/陽光保育園ホール

草原の響き・馬頭琴の夕べ～たくさんの参加ありがとうございました

馬頭琴はモンゴルに古くから伝わる2弦の弦楽器で、弦は馬の尻尾、弓も馬の毛で作られています。モンゴル人の馬頭琴演奏家・哈日夫(ハリフ)さんの演奏する馬頭琴のやさしい音色は陽光保育園のホールに響き渡り、90名もの参加者のあたたかい拍手を浴びました。

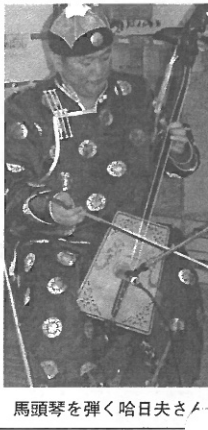
コンサート前には「親子のための馬頭琴演奏会」も開かれ、ハリフさんの演奏の他、女優藤野智子さんによる絵本『スーホの白い馬』の語りもあり、大勢の親子でにぎわいました。

陽光保育園建設資金の財政活動の一環として開かれたこのコンサート、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



絵本『スーホの白い馬』を読む藤野智子さん

☆初めて馬頭琴の演奏を聴きましたが、まるでチェロのような音色でした。絵本『スーホの白い馬』に出てくるモンゴルの草原を想像させ、心に優しく響く演奏に感動しました。演奏者のハリフさんの左手の動きがとても速く、弦の押さえ方がギターやバイオリン違って、興味深かったです。また機会があれば聴きたいです。(陽光保育園保護者 大澤あゆみ)
☆馬頭琴とはどのような形で、どうやって弾き、どんな音が鳴るか、想像もつきませんでした。はじめて耳にして、モンゴルの広々とした高原が目浮かぶようでした。楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。(陽光保育園職員 池田耕吉)
☆馬頭琴を実際に聴くのは初めてです。流れるような音色に感動しました。そして、とび入りでモンゴルの歌をうたってくださった人もいて、さらに盛り上がりました。陽光保育園の職員になってまだ数か月ですが、陽光保育園が大勢のみなさんに支えられているのを感じました。(陽光保育園職員 太幡圭吾)



馬頭琴を弾く哈日夫さん

ごあんない

- ◆陽光保育園運動会 とき 10月12日(日) 9時
- ◆場所 板橋第十小学校校庭(予定)
- ◆陽光保育園後援会・秋の交流会 10月26日(日)の予定です(場所未定)。詳細は改めてお知らせします。
- ◆陽光保育園冬のバザー とき 12月7日(日) 10時
- ◆場所 陽光保育園
- ◆冬のバザーでは共同購入も行います。注文用紙配布 10月27日(月) 注文締め切り 11月17日(月) 納品 12月11日(木)
- ◆夏のバザーはご協力ありがとうございました。冬のバザーも引き続きよろしくお願いたします。

おやこであそぼう！

おもちゃで豊かなあそびの時間

多田純也



子どもには、「友達と遊びたい」という気持ちとあわせて、「お父さん、お母さんとも遊びたい」「一緒にワクワクしたい」という思いがあります。では「どうやって遊ぶ？」というときに役立てばという思いで、「おやこであそぼう！」のシリーズを始めました。第1回の今回は、「おもちゃ」を媒介にして親子で遊ぶ大切さを、卒園児父親の多田純也さんに書いていただきました。今年4月に開催した「東京おもちゃ美術館」のご案内もしています。今夏は、親子でたっぷり遊んでみてはどうでしょうか。

おもちゃと遊びのNPO、日本グッド・トイ委員会では今年4月、四谷に「東京おもちゃ美術館」を開館しました。閉校した学校が世界のおもちゃでよみがえりました。木のおもちゃ、伝統おもちゃなどが展示され、それを手にとって遊んだり、手作り工房でおもちゃを作ることでもでき、たくさんのおもちゃが活躍しています。

子どもは遊びが生活そのものです。子どもたちはおもちゃで遊びながら指先や身体

の機能を発達させ、創造力やコミュニケーション力を培っていきます。また近年、おもちゃは子どもと高齢者をつなぐ道具としても注目されています。



輝け！子どものいのちと笑顔 ひろげよう平和への願い

第40回 全国保育団体合同研究集会 in TOKYO

「全国保育団体合同研究集会」（通称：合研）は、毎年会場を変え、全国各地で開催されていますが、40回目を迎える今年は、東京で開催されます。父母、保育士、幼稚園教諭、給食関係者、保育研究者、医療従事者、学生など、毎年1万人以上が、子どもたちのすこやかな成長を願って、話し合い、学びあい、交流する、楽しい集会です。どうぞお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。



とき	8月2日(土)～4日(月)
場所	8月2日(土) 全体会 3日(日) 基礎講座 4日(月) 全体会 3日(日) 基礎講座 3日(日) 市民子育て講座 基礎講座 実技講座 シンポジウム 分科会
	有明コロシアム (江東区有明2-2-22) *ゆりかもめ有明駅、りんかい線国際展示場駅各徒歩5分 ディファ有明 (江東区有明1-3-25) *ゆりかもめ有明テニスの森駅徒歩2分、りんかい線国際展示場駅徒歩10分 明治大学和泉キャンパス (千代田区神田駿河台1-1) *京王線明大前駅徒歩5分 明治大学駿河台キャンパス (杉並区永福1-9-1) *JR中央線・総武線御茶ノ水駅徒歩3分

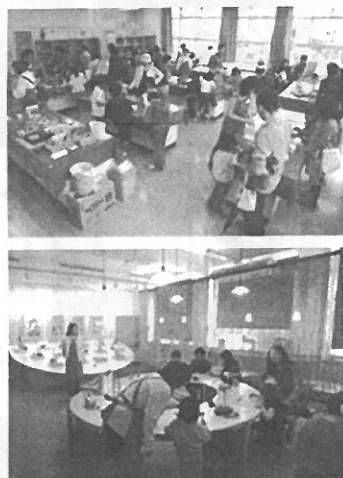
参加費 3日券：一般9,500円 学生5,000円
1日券：3,500円 (東京・千葉・埼玉・神奈川・山梨のみ有効)
*保育あります(有料)。事前のお申し込みが必要です。
8月2日(土)、4日(月)(半日保育)1,000円/3日(日)(1日保育、昼食付き)2,500円
*お問合せは、陽光保育園 ☎03-3956-1068、または
TOKYO 合研実行委員会事務局 (東京保研協 ☎03-5327-3150) までお願いします。

◎寄付のご協力ありがとうございます (2008年3月21日～6月30日)
浅羽正次、小川恵美子、飯倉直子、西村等・治美、岡田和歌子、江原史郎、横山不動産鑑定事務所、陽光会財政部財政活動(父母の会・職員・後援会・理事会)
◎社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会より
2008年4月1日～6月30日の財政活動収益(物品販売他)と寄付金の合計は、449,805円になっています。みなさまのご協力に心から感謝いたします。今後とも、ご支援のほど、よろしく願っています。
なお、人気の陽光保育園オリジナルTシャツを引き続き販売しています。こちらもお売上げにご協力よろしく願っています。
◎寄付のお願い (1口5000円/何口でもけっこうです)
下記口座に振り込みお願いいたします。
郵便振替口座番号 00140-0-260468 口座名義 陽光保育園建設委員会
*寄付金控除の対象になります。領収書が必要な方はお書き添えください。

建築資金

また、よいおもちゃを買って終わりではなく、どのように遊びこむかが大切です。いろいろな遊びかたを工夫しましょう。おもちゃを買ったら、「さあ、これであそぼうね」と声をかけて一緒に遊べば、どんなおもちゃでもグッドトイになるのです。

おもちゃを創る、遊ぶ、学ぶ、楽しむ。多世代交流のミュージアム。
東京おもちゃ美術館
東京都新宿区四谷4-20
四谷ひろば内(東京メトロ四谷3丁目駅徒歩約7分)
*詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.goodtoy.org/ttm/>



東京おもちゃ美術館の館内。「おもちゃこうぼう」(上)と「グッド・トイでんじつ」

お母さんの手、顔、声が最高のグッドトイです。



本来遊びは「自分でやりたくなったから始め、ルールを自分たちで変えられ、やめなくなったらやめられる」ものです。楽しくなければ遊びではないのです。ところがおもちゃがルールを作って「こま検定」をはじめたり、ボール遊びも泳ぎもスポーツクラブなど競技や習い事になってしまっています。これは遊びとはいえないかもしれません。

いま、おとなは子どもたちに「本当の遊びの時間」を保障して、二度と来ない子ども時代に豊かな遊び経験をさせることが大切ではないかと思えます。さあ、親子でいっしょにおもちゃで遊みましょう！
(NPO法人日本グッド・トイ委員会理事・おもちゃコンサルタント)

「戦争と平和」を考え続けて

星野 紀



戦火を逃れ疎開していた山形県上山(母方の郷里)で、私は終戦を迎えました。翌年4月、桜の中、母の手にひかれ、不安な気持ちで小学校に入学したことを想いおこします。

私は1940年、東京・早稲田鶴巻町に生まれました。父は大津の出身、東京で縫製業を成し、三越にハンカチを納めていた職人でした。縫製工場にあった数十台のミシンは戦争で強制的に没収され、家族の生活は一変してしまいました。家族は私が3歳ぐらいまでは何とか東京で暮らしていましたが、戦争が続き、東京も空襲に見舞われ、奉公人も含めて女・子どもは疎開することになりました。父は疎開のために貨車を借り切って家財を運ぼうとしましたが、激しくなった空襲で一夜にして家財は全部焼かれてしまいました。「兄に急かされ防空壕に逃げたこと」「ゲートルを巻いた姿でリュックを背負った兄が逆光に輝く玄関に立っていたこと」など、3歳の私の脳裏に焼き付いた戦争の記憶の一コマです。

焼け野原になった東京に帰ってきましたが、家族はバラバラに暮らし、私は5回も転校して、板橋に落ち着いたのは小学4年生の時でした。その頃、東上線は占領軍(米兵)を乗せて頻りに近くの線路を通過していました。紙芝居を見ていた子どもたちが「わーっ！」と走り寄り、貨車から投げられたチョコレートやガムを拾いに走ります。でも私は走っていきませんでした。矛盾を感じる心が芽生え始めていたのだと思います。ラジオでは「鐘のなる丘」や「君の名は」のドラマが流れ、荒川のバラバラ事件、足立の父殺し、山谷の人々のことなどをニュースは伝えていました。紅梅小学校で担任の先生が授業終了時に毎日少しずつ語ってくれた従軍日記などが影響してか、私はその頃から「戦争」を強く意識するようになりました。

高校卒業後、私は保育の仕事を選び、その道を歩き続けて来ました。陽光会・陽光保育園の就業規則・服務心得の中には「児童のすこやかな成長を願う者として、戦争政策に反対し、平和のために努力する」とあります。2008年、今私はその社会福祉法人陽光会の理事長、そして前期高齢者。相変わらず「戦争と平和」「貧困と富裕」「人間の愛」「人間の生と死」などを日々考え続けて暮らしています。

(板橋区在住/社会福祉法人陽光会理事長)



ではパパがママに成り代わり、その心情を書き綴ってみようと思つた。どうして、わたしがやっとうんたか面白いむすめから、こんなことを、いわれなければならないのかしら。だいたい、わたしにまかせておけないなんていって、じぶんこそよくものをかきおこす。ちっとも、こそだてのことがわかっていないんだから。また、あんまりことをりかいてできないこともわかって、でもわかんないような、こむすかしいことばかりいって、わたしのせいにしている。どうせ、わるいところはぜんぶわたしに、いいところはわたしにしているわよ。

わたしにもっとこそだてにきょうりよくいって、これだけばばになつていたら、おころにいれようとしても、ばばがいい、ばばがいいってこねるんだから、やりたくてもできないわよ。まあ、つかれているときなんかはそういって、わたしがたまたまさつちやったりもするけど。こんど、こどもがうまれたら、ぜったいにわたしがママのさつちやとすんだから。

でも、まいにちこはんをつくらなくてもいいのは、ちよつと、みりよくな。しこつからかえつてくると、おいしいおさけはこはんがまっているというのはいはすてがたいわね。

* 以上、すべてはパパによる創作であり、ばばがいいと言われても笑顔を絶やさな
* い実在のママとはいかなる関係もないことは言うまでもありません。
* (4歳児クラスの父)

パパがママで、ママがパパ!?
おそろくは、どこの家庭にも共通のあわたたしい朝きょうは、だれがたつてつてくれるの？ まま？ いや、ばばがいい。

そう、できれば隠しておきたいのだが、我が家では、一般の家庭におけるママがパパで、パパがママなのである。成り行き上、そうなってしまったのだが、その詳細は、ご披露できるようなものではないので触れずにおく。また、本来、この欄に登場すべきなのは我が家の場合、ママの方だとは思つたのだが、それも間わずにおこう。そこで、こ